

石井だより

2021.3
第25号

清流

編集発行

石井地区まちづくり推進協議会

事務局

石井地域コミュニティセンター内

〒321-0912 宇都宮市石井町1213

電話 028-662-6833



『無病息災
炎とともに 宙に届け
私たちの願い』

石井地区まちづくり推進協議会では、表紙の写真及び各单位自治会・育成会からの情報ならびにシリーズ「私の趣味」の投稿を募集しています。自薦他薦を問いません。事務局までお知らせください。

石井地域公共交通からのお知らせ

令和2年4月1日から運行しております定時定路バス「ぐるっと石井号」とデマンドカー「スマイル石井号」は、1年間の試験運行を終え、令和3年4月から本格運行になります。

現在、新型コロナウイルス感染拡大の状況下ではありますが、皆様に安心してご利用いただけますよう、宇都宮市の要請のもと、運行事業者の協力を得て、乗客数の制限や車内の消毒などを行いながら運行しています。ご乗車の皆様には、引き続きマスクの着用などをお願いしております。

デマンドカー「スマイル石井号」の令和3年度登録、受付中です

①「スマイル石井号」は、国道4号線以东にお住まいの方が対象で、事前の利用登録が必要です。

令和3年4月より皆様からの声にお応えし、これまでの25目的施設から23施設を増やした48目的施設となり、より便利にご利用いただけるようになります。登録のお申し込みは、各自治会長にお願いします。詳細は、国道4号線以东の各戸へ配布の「利用登録者募集」のチラシをご覧ください。

4月より、「石井地域公共交通回数乗車券」の販売を開始します

②宇都宮市在住の満70歳以上の方向けの支援事業で、同年度内におひとり様1回の申請・購入ができます。

令和3年4月より、宇都宮市の高齢者外出支援事業「いきいき70」に参加し、石井地域公共交通でお使いいただける「石井地域公共交通回数乗車券」の販売を開始します。助成対象の皆様には、「石井地域公共交通回数乗車券」または「交通系ICカード『totra』へのポイント付与」のどちらか一方を選んでご購入いただけます。詳細は、各戸へ配布のチラシをご覧ください。

ベルモールでの乗り継ぎが、便利になっています

③「ぐるっと石井号」の乗り継ぎ券は、ベルモールでの降車時に乗務員よりお受け取り下さい。

「ぐるっと石井号」では、ベルモールまでご乗車になった便の直後の便（例：9時の便を利用し、ベルモールで降車→10時便でベルモールから再度乗車など）の場合には、乗り継ぎ券のご利用で、1乗車（150円）の扱いとなります。ただし、お買い物などで、降車直後の便にご乗車にならない場合には、2乗車分（300円）となります。詳細は、乗務員にお尋ねください。



石井地域公共交通運営委員会（石井地域コミュニティセンター内）

「ぐるっと石井号」停留所『平成理研前』に、ベンチなどを設置いただきました

石井地区に根差し、日頃より社員一丸となり地域の清掃などもおこなって下さる平成理研(株)様ですが、利用者の安全などをご配慮下さり、定時定路「ぐるっと石井号」の停留所『平成理研前』に、ベンチや雨除けなどを設置いただきました。利用者の方々からは、「雨でも安心してバスが待てる」などの声をいただいております。地域の皆様に支えられながら、石井地域公共交通は運行しています。

【平成理研(株)様より】 弊社の地域への思い

当社は、平成15年1月に宇都宮市さるやま町から石井町へ移転してきました。業務内容は、「澄んだ空・きれいな水・みんなの願い」をコーポレートスローガンに掲げ、水質や大気質などの環境の調査、分析・保全・コンサルタントを中心に事業活動を行っております。

石井町で事業をさせていただいている日々の感謝を含め、屋外地域清掃活動をさるやま町の頃から約20年間取り組み続けています。また、ぐるっと石井号のバス停を平成理研前と命名頂いたことは、光栄に存じます。ささやかなお礼の気持ちを含めて、地域の方の安全と安心を願い、屋根と椅子を設置させて頂きました。地域の方に活用して頂ければ幸いです。今後も、地域に愛される会社を目指して参ります。

平成理研株式会社



ご利用のお客様の声

定時定路バス「ぐるっと石井号」

以前は、国道123号線沿いのバス停まで1人で歩いていましたが、現在はバス停「石井小学校前」まで歩いて1分を、近所に住む娘と週1~2回利用し、宇都宮大学前の内科、バスを乗り継いで東武駅前の眼科他へと意欲的に出かけています。バス停にはベンチもあるので、景色を楽しみながら過ごせます。

また、ベルモールの乗り継ぎも苦にならず、店内でのショッピングができて、外出が本当に楽しく感じられるようになりました。

新谷自治会 田崎和子さん（86歳）



デマンドカー「スマイル石井号」

不慮のけがで入院した後、今も通院が続いています。入院中に視力の低下を感じると共に、車の運転にも不安を感じるようになりました。スマイル石井号の運行が始まることは、自治会の回覧で知りました。健康に支障が出た時や車の故障など、何かの時に登録していれば利用できると思い申し込みましたが、今回大いに助かりました。

大島自治会 大野悦男さん（71歳）

スマイル石井号の運行は、主人から聞き知りました。仕事の出張でJR宇都宮駅まで行く際、ベルモールまでスマイル石井号で行き、路線バスに乗り換えて駅に向かえるようになりました。自宅まで来てくれるので、重い荷物でも安心だし値段も安いので、行きも帰りも利用しています。もう少し遅い時間帯まで運行しているといいですね。

西組自治会 柳田美江さん（50歳）

令和2年度 石井コミセン登録文化団体 随時会員募集

『新型コロナウイルス感染症の状況により、活動を控えている団体もあります。』

No.	サークル名 (内容)	講師名	月会費	学習日	時間
1	石井四つ竹会 (健康おどり・雅流)	雅 育香	入会金あり 1500円	第1・3月曜日	9時～12時
2	太極拳 (サンクススポーツ会員)	伊藤キイ子	1500円	第1・2・3月曜日	10時～11時30分
3	ひよっこ句会 (俳句)	—	実 費	第4月曜日	10時～12時
4	三喜流新舞踊石井	三喜稻啓華	2000円	第2・4火曜日	10時～12時
5	フラハNZ石井 (フラダンス)	—	1000円	第2・4火曜日	13時30分～15時30分
6	石井パッチワーククラブ	—	実 費	第1・3水曜日	10時～12時
7	石井ストレッチクラブ	桑川 久子	年 5000円	第1または第3水曜日	10時～11時30分
8	朗読サークル「ひだまり」	坂本 裕功	2000円	第1・3水曜日	13時30分～15時30分
9	石井ステンドグラスサークル	—	実 費	第2・4水曜日	10時～12時
10	コールいしい (コーラス)	小林 時久	1500円	第2・4水曜日	10時～12時
11	ヒップホップダンス (サンクススポーツ会員・小学3年生以上)	高根 未帆	4500円	第1・2・3水曜日	17時～18時
12	石井オカリナサークル	佐々木伸子	1000円	第1木曜日	10時～12時
13	石井パンフラワーサークル	杉山璃花子	3000円	第1・3木曜日	13時30分～15時30分
14	石井陶芸サークル	小林 琢磨	1000円	第4木曜日	10時～12時
15	ダンススクール (サンクススポーツ会員・小学3年生以下)	松尾 怜	1回 800円	毎週木曜日	17時～18時
16	琴峰会 (大正琴・菊乃会)	印南 俊昭	入会金あり 3500円	第1・3金曜日	10時～12時
17	石井着付けサークル	小林 佳子	年 7000円	第2金曜日	10時～12時
18	ディンプルアート・えくぼ	—	年 6500円	第2・3金曜日	10時～12時

★ 詳細お問い合わせは、石井地域コミュニティセンターまで ☎・FAX 662-6833

石井コミセンでは、様々な文化サークル活動を応援しています。ご興味のある方は、上記まで、お気軽にお問い合わせください。

ペタンクのまち石井!!



「栃木県ペタンク大会」佐藤栄一市長による始球式の様子。高橋かつり参議院議員も駆けつけてくれました。



ペタンクの聖地「水辺の楽校」での熱戦の様子。



真夏の炎天下でも、元気いっぱい練習です。

コロナに負けない子どもたち!! 『手洗いポスターコンクール』



たくさんの素敵な作品が掲示された石井小の廊下。

コロナ対策の基本「手洗い」。石井小では、手洗いの重要性を学ぶために、PTAと宇都宮大学の共同で『手洗いポスターコンクール』を開催しました。

コロナ禍で短縮された夏休みに、感染拡大防止対策への理解を深めようという自由課題。

多くの素晴らしい作品は、学校内に掲示され、子どもたちは楽しみながら「手洗い」を励行しています。

無病息災の祈りを込めて・・・お焚き上げ・どんど焼き



根本自治会の「お焚き上げ」は、素晴らしい青空の下、開催することができました。



西組の「どんど焼き」は感染防止対策を図った上、16:00に点火しました。



夕日の中の炎がとてもきれいでした。



久保田自治会は16:30に点火。



下川岸自治会のどんど焼き。
準備が整い、17:30の点火を待ちます。

編集後記

今年度は、地域イベントの多くが、中止を余儀なくされました。

明けない夜はありません。

必ず私たちは、今を乗り越えます。

ウイルスごときに、

人の心まで壊されてたまるか！

これからも地域広報紙「清流」編集部一同は

石井地区の皆様とともに、精一杯、

人生の一瞬の輝き、思い出の時間をお届けして参ります。

編集長 今野哲也